

水景施設技術の現状



竹尾 敬三 (たけおけいぞう)
日本水景協会 技術委員会 委員長

水景施設とは

水景施設とは一般的に水の修景のことを指します。たとえば、噴水・滝・人工せせらぎなどが挙げられます。



では、どんなところに水景施設はあるのかというと、一番よく見かけるのが、公園の噴水だと思います。また、最近ではショッピングセンターなどでも壁泉と呼ばれる壁を伝う滝のようなものもよく見かけられると思います。

また、ダム湖やため池でも噴水が設置してあります。最近では愛知万博でも多く使用されていた霧噴水(ミスト・噴霧など)も、各所に設置されています。

ではなぜ水景施設が設置されるのでしょうか？ 水景施設の効果には、何があるかというと、

- 癒し効果 …… 見ていてなんとなく気分がすぐれる。
- マイナスイオン効果・噴水周辺にマイナスイオンが発生し、イオン効果を発揮する。
- 冷却効果 …… ミストなど気化熱を利用して周辺の気温を下げる。

などがあります。

水景施設と水質について

水景といわれる所以は、水を利用するからですが、その水については利用の仕方によって、水質に気をつける必要があります。



ではどのような種類があるかというと、水辺空間による分類の場合は、次の三つが挙げられます。

- 修景用水 …… 水遊びをしない水辺空間(噴水・滝・壁泉など)。

- 親水用水 …… 水遊びを前提とした水辺空間(噴水・せせらぎ・滝・徒渉池など)。
- 自然観察用水 …… 観賞を前提とした水辺空間(公園池・観賞池・庭園池など)。

とくに親水用水の場合は、人が直接水に触れるため、



一般的には大腸菌群数により規定しています(詳細については「水景技術標準(案)平成14年10月日本水景協会」を参照してください)。

水質と維持管理

水質をある程度維持するために浄化設備が必要になります。設備は大きく分けて次の三つに分けられます。

- 1) 除塵設備 …… 除塵機などごみなどを取り除くための設備。
- 2) 浄化装置 …… ろ過など水質を向上させるための装置。
- 3) 消毒・殺菌装置 …… 塩素・紫外線・銅イオンなど主として大腸菌群・藻類を制御するための装置。

このような装置の組み合わせによって、施設に応じて水質基準を達成する必要があります。

水景技術者としての心得

水景施設にはその計画・設計段階そして施工に際して多くの技術者が関わっています。

水景施設には水景施設独特の技術があり、とくにデザイン・イメージなどの感性を表現することを、その背景にある技術力が支えています。

ただ、ポンプと配管だけで水路に水を流すだけでは、とくに水景技

